

MAIDOLL
Presented by Fei
飛燕

KISS OF THE DEAD

KISS OF THE DEAD II

R18 ADULT ONLY







KISS OF THE DEAD II

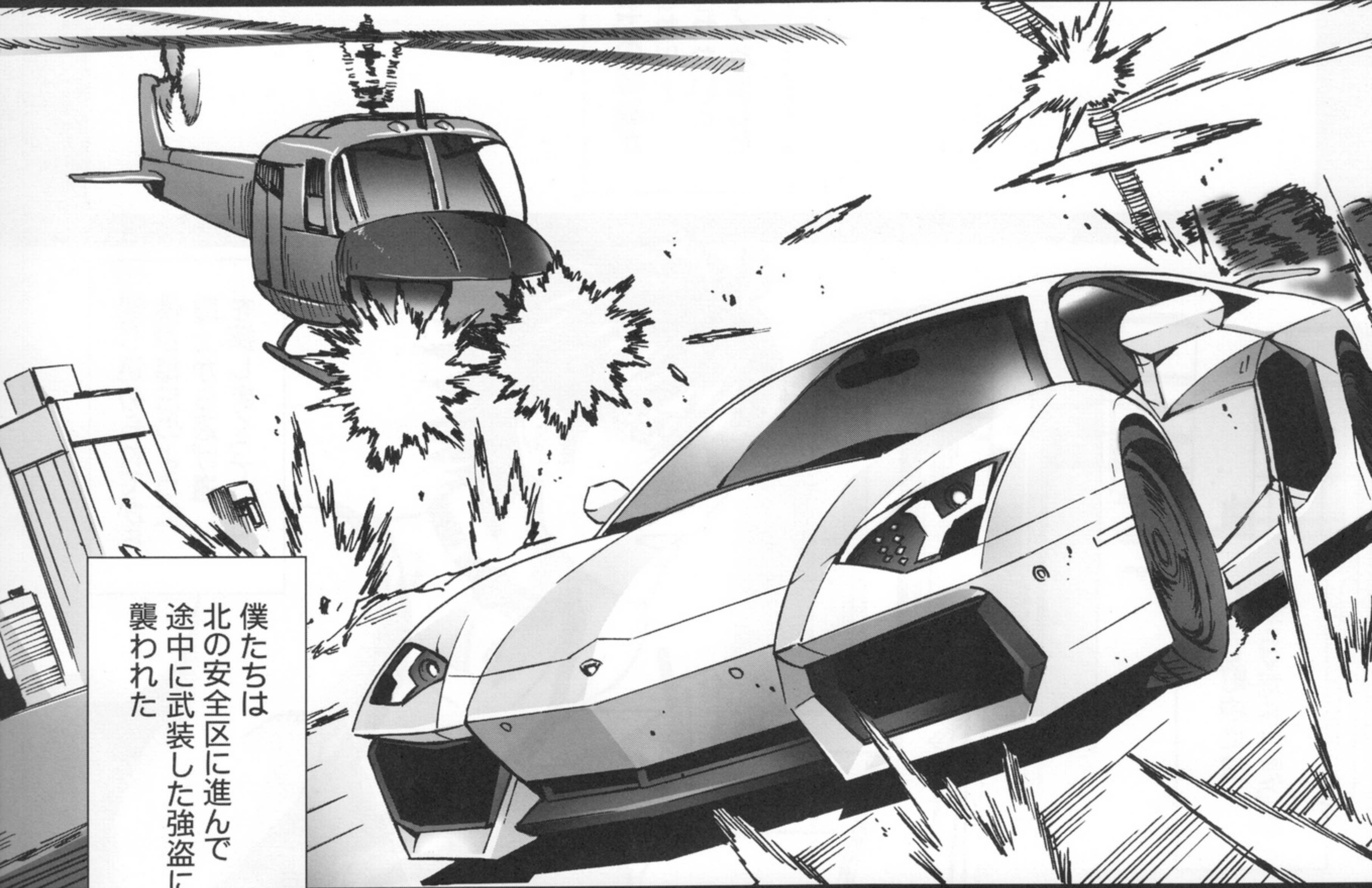
R18 ADULT ONLY



選択も
決め事も
一つ一つ正しいかど
うか慎重に考えな
ければならない

毎日…違う
ほとんど毎秒ごと
こう判断している

特にこの残酷な世界
の終わりに
小さなことでも命を
なくしてしまう



僕たちは
北の安全区に進んで
途中に武装した強盗に
襲われた

空中追跡から
逃げるため
僕たちは
危険な町に逃げ込んだ

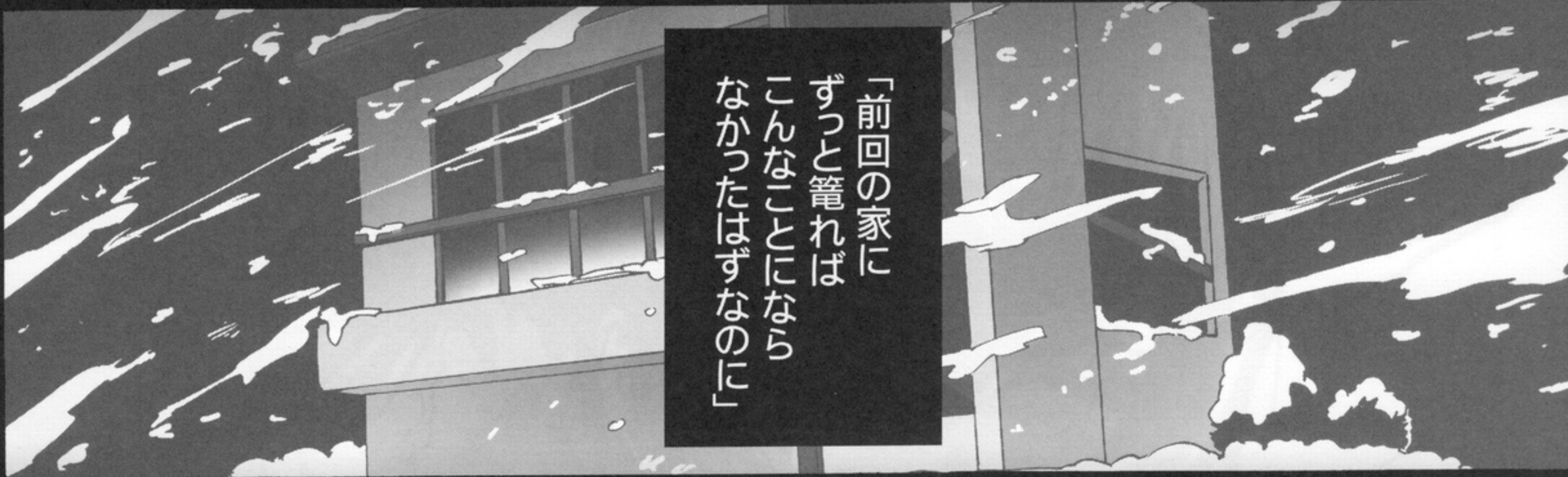
強盗から逃げられたが
車の冷却器が銃撃され
エンジンが壊れしまった

逃走中に
町中かなり
大量な△奴ら△に囲まれ
結局消防署の隣の旧倉庫に
閉じ込められた


これまでの経験が
もうこれ以上
活きられないと
教えてくれました

閉じ込められてから
僕が毎日のように
屋上から逃げ道
を探しまくっている

しかし町中には
△奴ら△だらけだった



「前回の家に
ずっと籠れば
こんなことになら
なかつたはずなのに」



僕はこう考えず
にいられない

そう考えちゃいけない
集中して…きつと何か
方法があるはず…

あまりも突発的
なことなので
手元の物資が
限られている

あと2、3日経ったら
もう食料が足りない





寝ちやったかな…

僕の頭の中に
いろんな計画を
実行させてみた

しかしどれも
結論が一つしかない…
冴子も僕も死ぬんだ



冴子…

最近孝が
甘えん坊に
なったわね

はあ…

孝の手が暖かくて…
気持ちいい…



僕たちにはもう時間が
残されないと覚悟してるか
ここ数日狂ってしまったよう
にエッチしまくった

チクビが…
孝の器用な手に…
いじられてる…

僕の肉棒も
冴子のお陰で
硬くなってるよ…

その言い方
まるで私が淫乱な体
を持つてる女みたい…

体中の性感帯…
全部バレている
みたいのね…

いやーっ…
立ってる…ん…

悪いことじゃないよ
どの男性でも
冴子の体に
ハマってしまいそう

いれて…

アナルに…
いれて…

体のこの部分だけ
まだ孝の熱いの
を味わってないよ

ク

この処女アナルを…
あげるわ

じゃ入れるぞ
痛いなら
教えてくれ

大丈夫…

最初は痛いけど
かもしれないけど
孝のためなら耐え
られるよ

キツイ…

あ…う…う…

はああ!

アナルキツイッ!
全部入った!

これがアナスセック
スね!とてもいい!

前のほうも
濡れてしまった!

冴子のアナルが
ピクピクして
僕の肉棒を吸い付けてる…
気持ちいい!

グチュ

グチュ
グチュ
グチュ

体に…また孝の
肉棒が大きくな
ったと感ずる！

はあああああ！

射精る！
はああ

アナルの中
が熱い！

せつすく射精るね
…あああ！

腸内に…孝の
精子がいっぱい！

ふはあ…

ふはあ…

いっぱい
射精したね…
私のアナルの
せいかな

はい…
冴子のアナル
がすごかった…

はい…
私もイッたけどまだ
止まらなくて…

オ
オ

オ
オ

あ…おっほい…

前の穴も…
よろしく頼む…

さっきアナルに
いれてもらったとき
ここにもう愛液が
溢れ出そう…

早くここにいれて…
ここを冷め
させないで!

うん…あ！

だってエッチして
る冴子が
かわいいんだよ

ん…かわいい…
私はかわいいか…

はい…とても
かわいいです

スピード
を上げるぞ

アナスセックスは
そんなに
気持ちいいか

冴子のアソコも
広がってる

孝のいじわる…
いつもこんなとき
私をいじめちゃっ…

うん…

ツツツ

ツツツ

ツツツ

ツツツ

もうイッちゃっつ？
イッている姿を
見せてくれ

ヌメ

はあ……！
気持ちいい！

上から入れられ
ると……一番奥に
届いてる！

ヌメ

すぼっ

ヌメ

あ……はあ……もう
イッちゃっつ……

う……ご……ごんなの
見られて……
恥ずかしい……

中に……！
中に射精して……！

僕も
射精さっつ……！

ヌメ

あああああ！

はあああん！
中出しすごく
気持ちいい！

びゅん

びゅん





ジュンジュン

ジュンジュン

孝……？




冴子
これは次の
作戦企画だ

数日観察してみたが
見つかった脱出ルートの
安全ポイントをこの
ノートに書いた


完全じゃないが…

この作戦のポイントは、
まずこの辺のへ奴ら
を減らさなければならぬ

でないとも町に出て
5分以内に囲まれる…




これについて
まず僕は町中に
大騒ぎして△奴らVを
僕について行かせる



倉庫にある防爆スーツが
△奴らVに噛まれないよう
守ってくれる

冴子が
安全な場所に着いたら
すぐ合流する

A black and white manga-style illustration of a building's exterior. The scene is framed by a thick black border at the top and bottom. The building features several windows with horizontal blinds. In the center, a white rectangular box contains vertical Japanese text. The background is a light, textured grey.

これがいい…
正しい選択肢なのか

これしかない

このスーツは確かに
噛まれないように
守ってくれる

ガ
ガ

ガ

しかしあまりも
重すぎて動かない
だから冴子と一緒に
逃げられないんだ

最後に大量な
△奴ら△に囲まれ
押しつぶされたままで
体力を全部失くして死ぬんだ
これは非常にひどい
死に方だった

でも：
あなたを守られたら
たとえ自分の命を犠牲
にしてもいいんだ

さよなら…冴子

END



後書

ご購入いただき、本当にありがとうございます。
この間、商業誌の仕事が入っていたので、
今回のページ数を抑えなければならないことになりました。
本当に申し訳ありません。

冴子の戦うシーンとか、車のシーンとか、
もっと詳しく描きたいところがたくさんあります。(笑)
だけど、Hがメインの同人誌では、それらのシーンをカットするしかありません…

表紙のイラストはもっと前の時にすでに決めました。
今回私の描きたいストーリーを分かることができると思います。

今回のテーマは前作の主人公の決定に対しての皮肉です。
前作で、彼らは安全な場所を去り、希望を探しに歩き出しました。
もしそのまま進まない、行方不明の仲間たちを見つけることも絶対できないと思っています。

その時点からみると、その決定はとても積極的で、正しいかもしれませんが、
そのような決定は、ある時はあなたを突き当たりまで追いかけ、
大切なものを失わせる場合もあると思います。
もし結果から考えると、それは正しくない決定だと考えられます。

例えば漫画を描くことはそういうことです。
日本の読者は理解できないかもしれませんが、
私の住む国では、
漫画を一生の仕事としているのは現実的ではなく、絶対稼げないと見られています。
実は私は、そんな金融都市に生まれました。

だから家族と他の人の反対は当然で、収入を基準としてあなたの決めたことを判断します。
進む道は非常につらくて、心からサポートしてくれる人はほとんどいません。

もし私はあきらめたら、今の私は存在しないわけだと思います。
そして、皆様も私の描いた漫画を読むことができないでしょう。
でも、もし続けると、数えきれないほどの大切なものを失う恐れもあるではないかと思っています。

今私のやっていることは正しいかどうか、時々迷っています。

おっぱいもそうです(おい!!)
私の描いた巨乳は大きすぎると思う人はたくさんいて、
それを変えてほしいという人もいます。

私のやったことは正しいかどうかはわかりません。
だか、ある決定はいったん決めたら、一生後悔するはずだとわかっています。

この同人誌を読んでいただき、再び感謝します。
そしてご協力してくださった方にも感謝する気持ちがいっぱいです。

飛燕

2011年12月16日



KISS OF THE DEAD 2

著者 飛燕

翻訳 Chisato

秘書 うさちゃん

メイド Yasuko

発行者 飛燕

発行元 サークル「MAIDOLL」

HP <http://maidoll.ms>

連絡先 maidoll_fei@yahoo.co.jp

印刷 PICO

2011年12月31日初版第1刷発行

内容の無断複写・複製・転載などを禁止